

「大和高田の千本桜」活動報告

担当 5 班

【実施日時】2021 年 4 月 2 日(金) 【天候】晴れ時々曇り
【参加者】85 名 【集合場所】近鉄大阪線 大和高田駅前広場
【集合時間】午前 10 時 10 分

【行程】近鉄大和高田駅—高田基督教会堂—不動院（大日堂）—専立寺・寺内町—弁慶の
七ツ石—大中公園・静御前の遺跡（昼食・花見）—長谷本寺—常光寺（八百屋お七）—
高田城跡—天神社—近鉄大和高田駅（各班ごとに解散）



お天気に恵まれ大和高田駅前には多くの仲間が集まりました。大人数を避け効率よく移動するため、A、B の 2 グループに分かれかつ行程を逆に歩き、昼食休憩の大中公園で合流することにしました。大和高田市は歴史遺産の宝庫、歴史の顔が見えてくる先人たちの足跡を「大和高田市ボランティアガイドの会」の方々が熱心に案内して下さいました。

昼食休憩の大中公園では、満開過ぎて散り始めの桜もありましたが、高田川の水面に浮かぶ花卉を見ながら遊歩道を散策するのも情緒があって良いものでした。「満開の桜もあと何年見られるのかなあ？」との声も聞かれ「同感」しました。一般にソメイヨシノの寿命は 60～70 年と言われこの桜も老木ですが、若木も植えられ樹勢を保つ努力をされていることを感じます。公園内の池に浮かぶ浮舞台は遠くに二上山を望むことが出来て、いつまでも思い出に残るでしょう。午後は再び A、B に分かれて大和高田駅まで歩き班ごとに解散しました。「大和高田市ボランティアガイド」の皆さまありがとうございました。

桜には入学式と卒業式、人との出会いと別れなど、子供の頃から日本人の心に語り掛ける魅力があります。最後に江戸時代の俳人が桜を詠んだ作品を二句、さて誰の句でしょうか？

① さまざまのこと思い出す桜かな（ ） ② 桜花何が不足でちりいそぐ（ ）



浮舞台と二上山



高田川沿いの千本桜



専立寺の太鼓桜



常光寺に眠るは？

【観察した樹木・草花】

数多くの桜に加え、ノボロギク アメリカアザミ ヤブジラミ オオカワジシャ タガラシ マツバウンザンなど多数（36 種）観察しました。別途岡田先生からご報告していただきます。



二
口
メ
モ

- ・大和高田の桜、初めて見に来ました。天気も良く、花吹雪も散って一番いい時に連れてきてもらい最高の一日でした。
- ・2、3 日前の雨で心配していた桜も私達を待っていたようで嬉しかったです。大和高田市のボランティアに皆さまにも感謝です。
- ・ボランティアガイドさんの説明を聞いて大和高田市の歴史を楽しみました。
- ・大和高田千本桜と言われるような見事な桜でした。少し満開を過ぎていたのが残念。